

～教員インタビュー（大島編①）～

大島町立つばき小学校 主任教諭

1 島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

高校までは、東京の市部で過ごし、東京都の教員になってからは、2つの区で働きました。市部で育ち、区部で働いていたころ、大島町に旅行で行く機会があり、大島町の魅力に惹かれました。この自然豊かな素晴らしい環境の中で、子供たちはどのように過ごしているのか、子供たちと関わってもっと知りたい、ここで働いてみたいと思ったのがきっかけです。

2 児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

全校児童で、114人ですが、全員の名前と顔が分かるのは人数が少ないからだと思っています。1クラス平均約20人弱なので、子供一人ひとりにたくさん声をかけてあげることができます。よさを見つけやすかったり、課題にじっくりと向き合えたりするよさもあります。また、たてわり班で掃除をしたり、遊んだりしているので、学年関係なく仲が良いのもいいところです。

3 島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

生活圏内に、学校があることです。お店に行けば、児童や保護者に会います。温泉でも公園でも、お祭りでも会います。自分の子供が同じ学校にいる教員も多いです。同僚の子供を担任することもあります。通勤時間が短いので、その時間を教材研究に費やせたり、自分の家族との時間に使えたりするよさもあります。仕事内容は、内地の学校と大きく変わらないと思います。

4 仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

ほぼイメージしていた通りです。教員という肩書もありますが、地域に住んでいる人として関わってくれることもあり、自分の中では、学校では先生、学校外では地域住民として生活しています。もちろん、教員ということは常に念頭に置いて、恥ずかしくない行動をしているつもりです。

5 島だからできたことがあれば教えてください。

地域のことをよく知っている人に授業をしてもらえることが多いです。地域に伝わる伝統的な踊り、三原山のフィールドワーク、魚を使った授業など、体験的な活動は、島ならではの感じがします。運動会で、地域の方も一緒に、伝統的な踊りを踊る時間が好きです。

6 日常生活での買い物はどうしていますか。

大島ではスーパーマーケットがいくつかあるので、休日にはいろいろなお店に行って買い物をするを楽しんでいます。詳しい人に特売の話を聞いて出かけたり、お店の人と話をしたりするのが楽しいです。新鮮な野菜を売っているお店、おいしい魚があるお店、総菜がおいしいお店など、できるだけ島内で買い物をするようにしています。もちろん、インターネットで注文して買うこともあります。

7 休日は、何をして過ごしていますか？

海が近いので、海で遊ぶことが多いです。釣り、海水浴、貝殻拾いなど、自分の子供たちと遊んでいます。公園もいくつかあり、学校の子供たちにも会いますが、みんなで楽しく過ごしています。あまり人に出会わない静かな場所もたくさんあるので、家族だけで過ごしたいときは、そのような場所を選んで出かけることもあります。新しい飲食店もよくできるので、休日には家族で食べに行っています。何回か通うとすぐに顔を覚えてくれるので、お気に入りの店に行くことも多いです。

8 島の学校に来て、最も印象に残っていることを教えてください。

3月の別れの時です。島を離れていく友達、先生方の見送りが素敵です。今はできなくなりましたが、大型船のデッキから、色とりどりの紙テープが風になびいている景色は鮮明に焼き付いています。船が出港する時間には、たくさんの島民が集まって別れを惜んでいる姿はとても印象的です。みんなから惜しまれて島を離れていくのだなと強く実感できます。

9 島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

目の前の子供たちに向き合える時間、家族と向き合える時間、自分と向き合える時間

がたくさん取れることです。どこで生活しても24時間は変わらないはずです。24時間の使い方が、内地で生活するのと変わっている、または意図的に変えさせてくれるのが島の魅力かもしれません。

10 島への赴任を検討している方に一言お願いします。

人生は一度きりですので、迷っていたら挑戦するのをおすすめします。子供たちはとても素直なので、子供たちが学習をしていて、「わかったとき」、「できたとき」の嬉しそうな顔がたくさん見られます。保護者と会う機会も多いので、直接子供の成長を伝えることができるよさもあります。学校、家庭、地域が一体となって子供たちを育てているのが実感できるので、そのような環境で働いてみたいと考えている方は、ぜひ島に来てください。一緒に働くことを楽しみにしています。